

千葉市長旗争奪ミニサッカー大会競技規則

1 ピッチ

- 縦 25m～36m 横 15m～20m ペナルティマーク 5m ペナルティエリア 3m (ただし、状況に応じて変更する。)

2 ボール

- ボールはフットサル4号球を使用する。(軽量)

3 競技者の数

- 競技者は4～6年生の部及びママさんの部は5人、1～3年生の部は6人とし、内1人はゴールキーパー (以下説明文中は「キーパー」という。) である。
- 交代は何回でも可能。また、一度交代で退いた競技者は交代要員となり、他の競技者と交代してピッチに戻ることができる。
- 選手は交代ゾーンから交代する。必ず交代する選手がピッチを出てから入ること。審判に告げる必要はない。

4 競技時間

- 12分のみとする。(ランニングタイム) 但し幼児の部は10分のみとする。

5 得点

- ゴールイン
 - ① ペナルティエリア内のシュート等による得点は認める。
 - ② コーナーキックから、直接得点することができる。
 - ③ キックイン、間接FK、キーパーズローがキーパーに触れて入った場合は得点と認める。
- ノーゴール
キックオフ、キックイン、間接FK、キーパーズローが直接ゴールに入った場合は、相手側のキーパーズローで再開する。

6 ゴールキーパー

- キーパーはペナルティエリアを出て、フィールドプレーヤーとしてプレーしてよい。
- キーパーは手でつかんだボールを蹴ってはいけない。(ドロップキックを含む) 蹴った場合は相手側に間接FKを与える。
- キーパーズローは相手ピッチにノーバウンドでボールを投げ入れることはできない。ただし、アドバンテージは認める。ノーバウンドで越えた場合は相手側にハーフウェーラインの任意の地点からの間接FKを与える。
- キーパーは4秒以上ボールを保持してはいけない。違反があった場合は相手側に間接FKを与える。

7 フリーキック

- ボールを保持またはプレー中のプレーヤーにスライディングタックルをすることはできない。違反をした場合には相手側に直接FKを与える。
- キーパーが、味方競技者により意図的にキーパーにキックされたボールに手で触れた場合は、相手側に間接FKを与える。

8 キックイン

- ボールがタッチラインを越えた場合は、最後にボールに触れた競技者の相手側のキックインで再開する。
- キックインは走り込んで行ってもよいが、正しく行うよう指導する。(正しく行われなかった場合は、相手側のキックインで再開する。)

9 ゴールクリアランス (キーパーズロー)

- 攻撃側が最後にボールに触れてゴールラインを越えた場合は、すべてゴールクリアランス (キーパーズロー) となる。

10 その他

- コーナーキック、フリーキック、キックインの時、相手側競技者はボールから3メートル以上離れる。
- 予選リーグにおいて勝ち点で並んだ場合、決勝トーナメントへの勝ち上がり方の優先順位は、①得失点差、②総得点、③直接対決の結果、④抽選とする。
- 決勝トーナメントにおいて同点の場合、1人目からのVゴール方式によるPK戦とする。
- 試合開始に遅れたチームは不戦敗とし、失点5とする。
- その他についてはFUTSAL競技規則に準ずる。ただし、ファールは累積されない。キーパーへのパスの制限はない。
- ママさんの部では、ネックレス・イヤリング等の装飾品は身につけないこと。また爪についても安全を確認する。

【 幼 児 の 部 】 (上記の競技規則のうち、次の点を変更する。)

- ボールは幼児用ソフトサッカーボールとする。
- 競技者は6人制とする。